

西中学校だより (第 16 号)

**木立見** こだちみ

平成29年 1月 18日 発行



発行者 出口 伸雄

校訓 ～ 強く 正しく 美しく ～

2017年(平成29年)を迎えました。今年は酉年です。福をとり込む、運をとり込む、様々な良いことがとり込まれる縁起の良い年と言われています。子どもたち一人一人が、明るく、元気に、安心して学べるような、これまで以上に素晴らしい西中学校を目指して、教職員一同、誠心誠意、努力をしていきたいと思ひます。今年もどうぞよろしくお願ひいたします！



### < 始業式式辞(抜粋) >

目標を実現するためには、自分の力だけでは難しい場合がほとんどです。友達や先生、家族など、みなさんの周りの人の協力や助けがあってはじめて達成できるのではないのでしょうか。だから、みなさんは周囲に目を向けながら相手のよさを認め、生活してほしいと思ひます。「金子みすず」さんが作った「私と小鳥と鈴と」という詩を紹介しします。

私が両手をひろげても、お空はちっとも飛べないが、  
飛べる小鳥は私のように、地べたを速くは走れない。  
私がからだをゆすっても、きれいな音は出ないけど、  
あの鳴る鈴は私のように、たくさんな唄は知らないよ。  
鈴と、小鳥と、それから私、みんなちがって、みんないい。



みなさんの周りにはたくさんの方がいます。誰一人として同じ人はいません。あなたには、他の人が持っていない良さがあり、他の人は、あなたにない良さを持っています。人にはそれぞれ、その人の個性、性格、得意なこと、好きなこと、みんな違った良さを持っています。あなたの周りの人の良さを発見し、同時に、みなさん自身の良さをわかることが大切です。そして、自分自身の良さをより一層磨き上げていきましょう。そうすることが、みなさんの成長と目標実現に必ずつながると思ひます。

西中学校の2017年がスタートします。これまで西中学校が取り組んできた、「あいさつ」「いじめ撲滅」「日本一きれいな学校」をしっかり継続し、さらに素晴らしい西中学校を目指したいと思ひます。そのためには、「あいさつ」では、心のこもったあいさつができるようお願いしします。「おはようございます。さようなら。」の他に、授業の始まりの「お願ひしします。」授業の終わりには「ありがとうございます。」をしっかり心を込めて言えるようにしてください。「いじめ撲滅」の取り組みでは、一人一人の良さと自分自身の良さを十分に発揮できるように、思いやりのある言葉かけや行動をして、周りの人に迷惑をかけることなく、みんなが明るく楽しい学校生活が送れるようお願いしします。「日本一きれいな学校」になるために、無言で清掃をしっかりとお願いしします。無言で清掃に取り組むことを通し、その日の自分を見つめ、勉強でお世話になった西中学校に感謝し、自分の心と校舎をしっかりと磨いてください。



3学期は、平成28年度のまとめの学期であり、次の学年に進級するための準備の学期でもあります。3年生にとっては、義務教育最後の学期です。卒業まであと2ヶ月です。仲間とともに一日一日を大切に、中学校生活で学ばなければならないことをしっかりと学んでください。そして悔いの残らないように、自分の進路を決定してください。2年生には、3年生やこれまでの先輩方が築いてくれた西中学校の良き伝統を受け継ぎ、さらに素晴らしい西中学校になるように、信頼され、逞しい3年生になるための準備をお願いしします。1年生は、3ヶ月後には新入生が入学してきます。生活面・学習面・部活動で、基礎をしっかりと固めて、本当の意味で先輩と呼ばれるにふさわしい2年生になる準備をお願いしします。西中生一人一人の新年の目標が実現できることを願っています。



# 生徒及び保護者による学校評価結果から～成果と課題

12月14日付けで通知しました生徒及び保護者による学校評価結果から、「高評価」（＝「そうである。できている。」と「ややそうである。ややできている。」を合わせた割合）に着目し、成果と課題をまとめ、その主なものを掲載しました。

## 1 「生徒による学校評価」～学校・職員に関わる項目

【成果】9項目のすべてが、高評価（80%以上）となっています。特に、「西中は、学校行事に熱心に取り組んでいる」、「西中は、より良い学級作りに取り組んでいる」、「先生方は、規律ある学校生活のために努力している」が、高評価（93%以上）となっています。これからも子どもの教育に、西中職員が一致団結して取り組んでいきたいと思ひます。



【課題】項目1-4「授業はわかりやすい」、2-5「先生方は、生徒から信頼されている」の高評価がそれぞれ5.4ポイント低下しています。子どもの実態を把握し、授業研究をしっかりと行い、わかる授業ができるようにしていきたいと思ひます。また、授業力を含め、教師としての資質の向上を目指し、研究と修養に努め、子どもから信頼される教師を目指したいと思ひます。

## 2 「生徒による学校評価」～自分自身に関わる項目

【成果】16項目のうち11項目が高評価（80%以上）となっています。特に、「チャイム着席を守っている」、「地域であいさつができる」「善悪の判断ができる」「約束事を守っている」「他の生徒の個性を理解し、認めている」「余裕を持って登校している」が高い評価を得ています。また、「朝読書の本は、自分で用意している。」が、昨年に引き続き、さらに、4.0ポイント高くなっています。あいさつや授業への取組、他の生徒のよさを認め、規則正しくしっかりした学校生活を過ごしている状況があり、読書への意識の向上も見られます。



【課題】昨年に引き続き、「家庭での学習習慣が身についている」や「予習・復習をやっている」は、高評価が70%を下回っています。今後、家庭との連携を十分に図りながら、具体策を考え、家庭学習の充実を図ってきたいと思ひます。

## 3 「保護者による学校評価」～学校・職員に関わる項目

【成果】15項目のうち14項目が高評価（80%以上）となっています。特に、「学校行事に熱心に取り組んでいる」、「より良い学級作りに取り組んでいる」、「毅然とした態度で規律ある学校生活を作っている」「進路について熱心に情報を収集し進路相談にのってくれる」が、高評価となっています。今後も、授業、学校行事、部活動等をとおし、学級を基盤に望ましい人間関係のもと、安心して学校生活ができる良い西中学校にしていきたいと思ひます。



【課題】「学校の教育方針を知っている」の高評価（79.2%）が一番低いことから、昨年に引き続き、様々な機会をとらえ、保護者にわかりやすく伝えていきたいと思ひます。また、「一丸となって指導してくれる」の高評価（80.2%）が、昨年の高評価に比べ、5.8ポイント下がりました。今後も引き続き、教職員の共通理解を密にし、学年や学校が同一歩調で、学校運営に関われるようにしていきたいと思ひます。

## 4 「保護者による学校評価」～自分の子どもについての項目

【成果】8項目のうち、「善悪の判断がきちんとできる」、「約束を守ることができる」、「家庭であいさつができる」「地域の方にあいさつができる」、「時間を守っている」の5項目の高評価が80%を超えています。生徒による学校評価とほぼ同じ評価となっており、学校と家庭が連携し、子どもの教育に力を入れている結果であると思ひます。

【課題】「家庭での学習習慣が身についている」の高評価（67.8%）が一番低く、また、「時間を守って生活できる」の高評価が7.3ポイント、「家事を分担して、取り組むことができる」の高評価が、6.8ポイント、昨年に比べそれぞれ下がっています。家庭学習の意義について、家でのお手伝いなど家庭の一員としての役割を身につけさせること、「早寝・早起き・朝ご飯」を推進し、規則正しい家庭生活ができるようにすること、それぞれについて、PTAとの協力を得ながら家庭との連携の深め、改善してきたいと思ひます。

